

第53回夏季大学

テーマ『降雪・積雪予測と雪氷防災の最前線』

日時:2019年8月3日(土)~4日(日)

場所:気象庁講堂(東京都千代田区大手町1-3-4)

定員:100名程度

参加費用:一般5000円 学生3000円

■ 8月3日(土)

- 10:30~10:35 開講挨拶
- 10:35~10:50 講師と夏季大学の概要紹介
- 10:50~12:00 雪に関する防災気象情報の改善 土井内則夫(気象庁)
解析積雪深・解析降雪量の概要 石井恭介(気象庁)
- 13:00~13:50 吹雪災害と吹雪への備え 丹治和博(日本気象協会)
- 14:00~14:50 雪国の防災とまちづくり 上村靖司(長岡技術科学大学)

■ 8月4日(日)

- 10:00~10:50 地球温暖化で変わる日本の雪 川瀬宏明(気象庁気象研究所)
- 11:00~11:50 日本各地に大雪をもたらす大気循環場の特徴 本田明治(新潟大学)
- 13:00~13:50 雪崩発生メカニズムと予測の試み 中村一樹(防災科学技術研究所)
- 14:00~14:50 学習到達度試験(クイズ形式)
- 14:50~14:55 閉講挨拶